戦争遺跡一覧

※1：寸法は「愛知県史」戦争遺跡位置図調査または2023年度基礎調査に基づく。
※2：内容は「愛知県史」または2023年度基礎調査に基づく。

本マップは、愛知県内に所在する戦争遺跡の位置を示したものである（一部を除く）。
不明あるいは滅失していると認識されている遺跡はマップ上に掲載せず、一覧内で色を付した。

―不明　―滅失

No.	名称	市町村	所在地	説明	寸法
■ 001	名古屋陸軍兵器地区	名古屋市千種区	吉平橋	敷地東端にコンクリート塀、全幅約1.8m、高さ約2.5m。（陸軍省）旧名古屋師団	95
■ 002	千種二階建の倉庫		千種2丁目	千種2丁目の住宅街に残る鉄筋コンクリート造の倉庫。	95
● 003	旨ヶ丘高射砲の弾丸庫		下方町	（陸軍）旧名古屋師団	95
◆ 004	平和公園の防空壕跡		平和公園	大型防空壕跡など。	95
◆ 005	名古屋陸軍墓地		猪高台	墓碑など72本。建立：昭和31年（1956）。東区出来町から移設	95
● 006	第一師団の弾薬庫の跡地		瑞山通	昭和20年（1945）2月、旧陸軍第七軍配下にあった。	—
■ 007	瑞山1丁目の防空壕群・鳥居		瑞山通	現在西方の住宅地に、鳥居型コンクリート製の防空壕が数カ所残っている。	—
◆ 008	四山1丁目の地下壕	名古屋市区	四山	現在の鶴舞2丁目、石塀裏側に残る防空壕の跡。	—
◆ 009	山王神社の地下壕		山王	現在の新栄町付近。	—
● 010	金城女子専門学校の奉安庫		白壁	昭和11年（1936）RC造の講堂内に設けられ、高さ1.60m奥行1.90m奥行0.60mの小型金庫。	97
● 011	千種区中央小学校		千種	昭和20年（1945）3月20日、空襲により焼失。	97
◆ 012	瑞穂区の防空壕群		瑞	昭和17年（1942）竣工。市内防空網を構成し設置。	97
● 013	名古屋市立第一高等女学校	名古屋市区	八王子町	昭和20年（1945）5月14日空襲により焼失。敷地内に防空壕の跡が残る。	—
● 014	鶴舞中央図書館		鶴舞	昭和20年（1945）5月14日の空襲で被災。しかし現在防空とされる。	—
● 015	三菱重工の大曽根第一	名古屋市中村区	三社通	正面幅約二百間空襲。幅20m高さ1.50m。昭和9年（1934）建立。	98
● 016	三菱重工の大曽根第二		中村区	神明通沿いに現存。幅20m高さ1.60m。台座1.65cm。	98
● 017	乃木倉庫	名古屋市中区	本丸	明治期の陸軍倉庫跡。	99
● 018	名古屋城の防空壕		本丸	昭和20年（1945）5月14日の空襲により大小7箇所、石垣、礎石に掘り跡	99
● 019	第二師団司令部		三の丸	現本町通構築の防空壕の跡。陸軍第一師団、土塁の一部、防空壕、神社墓碑	25, 26
▲ 020	名古屋市役所西庁舎跡		三の丸	旧陸軍倉庫の跡。東西に長い建物。	27
▲ 021	名古屋市役所本庁舎ヒバ広場		三の丸	6本の広の根に、防空壕の痕跡	58
● 022	名古屋高等裁判所の奉安庫		三の丸	幅1.26cm奥行140cm高さ148cm。昭和8年竣工（現）。東海支社にあったとされる**[1]**	—
● 023	島崎第一師団司令部の建物	名古屋市昭和区	鶴舞	昭和5年（1930）完成しかし大部分は空襲で焼失。	22
● 024	明倫しょうぼう第2機庫跡		御幸町	昭和20年（1945）3月27日空襲。鉄骨造、鉄筋、壁に銃弾	22
● 025	西庄寺の城址碑		円上町	空襲による焼失。	99
● 026	名古屋市立第一高等女学校	名古屋市瑞穂区	瑞穂通	1階の防空壕は鉄筋コンクリート製。	99
● 027	八事時計台の被災痕跡		御剣町	現在の三階建ビル。	99
● 028	在郷の常夜灯と門柱		在郷町	昭和20年（1945）5月17日、空襲焼により倒れた跡と思	99
● 029	最中池の常夜灯		瑞穂通	昭和20年（1945）5月20日の空襲により炎上。現在は防空壕の跡が残る。	100
● 030	陸軍名古屋飛行場の防空壕	八事	御剣	昭和37年（1962）から2度に亘って発掘調査。	100
● 031	陸軍第三師団の防空壕	八事	石塀	1.8m（幅）、1.8m（高さ）、2.0m（奥行）。	100
● 032	梅鶴の城址碑		石橋	昭和20年（1945）6月9日、石橋空襲で焼失。	100
● 033	鶴舞一公園の防空壕		鶴舞	昭和20年（1945）5月14日空襲。	100
● 034	千種八幡神社の被災石碑		千種	石垣裏側に被災碑。	101
● 035	千種八幡社の被災石碑（小川）		千種	石垣裏側に被災碑。	101
● 036	熱田神宮の被災痕跡		神宮	南門（本殿）に被災痕跡。	101
● 037	陸軍名古屋第一師団第十六師団第2倉庫	名古屋市中区	新栄町	鉄筋コンクリート造。	101
■ 038	愛知航空機（株）本社工場の手ぐりトンネル（スリット）	名古屋市港区	野跡	本工場周辺コンクリート造壁面。幅1.1m高さ70m 奥行	101
● 039	東海市役所の被災		荒尾	昭和20年（1945）6月26日、空襲被災。	101
● 040	名古屋市防空壕		高辻町	10年地震に際受多数のコンクリート製。	102
● 041	山崎橋の被災痕跡	名古屋市南区	呼続	明治21年（1888）頃の製橋材。昭和20年（1945）空襲により被災（推定）。	102
● 042	高射砲陣 - 笠寺陣地		高射砲陣地	高射砲陣地。第一、第二、第三、第四、第五の陣地。	102
▲ 043	宮前の防空壕	名古屋市中川区	中川区宮	面宮神社の西門下に幅2.2 間奥行0.7	102
● 044	名古屋市役所		伝馬通	昭和20年（1945）5月14日空襲。	103
● 045	春日井郡役所の防空壕		五軒	日陰地区住宅敷。東側の2 重（幅0.7 3m、2.4m）があったとされる**[2]**	—
● 046	陸軍第四師団司令部		堀田	堀田地区住宅敷。東側の2 重（幅0.7 3m、2.4m）があったとされる**[2]**	—
● 047	高射砲陣 - 塩釜市陣地		牛尾	高射砲第四十七連隊第一砲隊、兵員諸隊7 箇所あったとされる**[2]**	—
● 048	高射砲陣 - 東海市陣地		荒尾	陸軍高射砲第十七連隊第一砲隊。	102
● 049	高射砲陣 - 知多郡陣地		小鳥	高射砲第十七連隊第一砲隊、コンクリート製の防空壕があったとされる**[2]**	—
● 050	船舶第一師団本部		大井	本部3 棟、石造倉庫7 棟。昭和20年頃に解体。	—
▲ 051	小山田小学校の奉安殿		甲東園	本部3 棟、石造倉庫7 棟。	103
● 052	名古屋陸軍兵器補給廠（川西）の弾丸庫	名古屋市緑区	鳴海町	鳴海地区の「名古屋市指定文化財」に指定された。	103
● 053	門下町の防空壕		大高町	コンクリート造等の防空壕が2カ所残っており（現在の場）。復元	103
● 054	大高区防空壕の跡		大高町	大高区内に残された防空壕。	103
● 055	大高区の防空壕		大高町	大高区内に残された防空壕。	103
● 056	八事聖霊の防空壕跡	名古屋市天白区	八事	（事）聖霊の西側の正面の壁。幅2.5m高さ1.8m	104
● 057	陸軍第四師団の地下壕		八事山	軍隊関係者等関係者の遺骨収容の際に発見された。	104
● 058	相生山緑地の弾薬庫		相生山	緑地内に7 11 箇所	33～36
● 059	名古屋市立第一高等女学校	名古屋市	八事	現在の地下鉄「八事」駅の西側。	104
● 060	陸軍第四師団	名古屋市	八事	現在の地下鉄「八事」駅の西側。	104
● 061	日本ラジオ（株）前田野工場	前田野	前田野	戦時に軍需品製造（500）。空襲時のみ対象となったとされる**[3]**	—
● 062	一宮重工業（株）	高蔵寺	高蔵寺	一宮重工業（株）名古屋発動機製作所の調査対象。	105
● 063	日本ラジオ（株）の防空壕	庄内	庄内	現在の地下鉄「庄内通」駅の西側。	105
● 064	名古屋陸軍病院の建物	庄内	庄内	現在の地下鉄「庄内通」駅の西側。	105
● 065	海軍軍学校の奉安殿	川島町	東野町東野	高さ241cm 幅271cm の木造建物。現在学園内で、倉庫として使用**[4]**	22
● 066	小牧山の防空壕	小牧市	小牧	防空壕は小牧山の南側に2 箇所、3カ所設けられた。	105
● 067	小牧山南麓の空襲跡		堀口町	小牧市小牧駅近くを眺望したもの。大正11年（1922）1月31日建立	105
● 068	日本ハモニカ株式会社第五事業所		小牧	現小牧市役所の北西。コンクリート造平屋建建物と工場跡。	105
● 069	豊川海大研修所		小牧	昭和14年（1939）7月に小牧山東側山に土建工。後西林寺に移設	105
● 070	「日の丸山」「月の丸」「星の丸」		犬山市	陸軍特別工兵連隊による「日の丸」「月の丸」「星の丸」。戦後も空襲による	106
● 071	名古屋陸軍航空機製作所		下末野川原・山田郡内	現在国道1 号線沿いに残存。	106
● 072	名古屋陸軍航空機製作所	春日井市	白山	現在の春日井市白山町の山間部の建設跡。	106
● 073	小山神社の橋梁		玉野町・西山町	名古屋陸軍航空機製作所（名古屋陸軍航空機製作所）の軍用道路の一部。	37～40
● 074	名古屋陸軍兵器工場跡		鷹来町	現在地方の鷹来小学校の敷地。	107
● 075	陸軍第四師団の防空壕		大泉寺町山田	名古屋陸軍兵器工場。敷地内。	107
● 076	陸軍第四師団の防空壕		大泉寺町山田	本部4 棟。	107
● 077	陸軍小牧飛行場の格納庫		田県	コンクリート造、半地下式。幅20m 奥行25m 高さ2.10m。現在第	107
● 078	陸軍大曽根分隊の地下壕跡		鳥取町	「陸軍」旧名古屋師団 4 連、現ヤマザキ商パン北	107
● 079	名古屋陸軍第四師団兵器所	上下町	上下町	RC 造平屋。2 棟。鉄道用。空中支撃用の小銃眼。	108
● 080	陸軍名古屋防空砲火研究所	上条町	上条町	本部2棟及び倉庫4 棟。昭和13年（1938）春現在庫内に残	108
● 081	小牧山防空砲火の弾丸庫	小牧市	小牧	本部4 棟及び倉庫。鉄筋造。通風口が設置の弾丸庫。	108
● 082	陸軍小牧飛行場の格納庫		春日井上ノ原・中町	コンクリート造4 基。現在では倉庫の可能性	108
● 083	名古屋陸軍兵器補給廠（川西）の防空壕	高蔵寺	下田寺	昭和16年8月10日の調査の際に発見。現在は住宅地。	108
● 084	鷹来小学校の防空壕	一宮市	大宮浦東町小牧	庁舎北側の地下壕。	109
● 085	陸軍第四師団の防空壕		法華町南	法華町南	109
● 086	犬山第一国民学校の奉安殿		二曲	一体神社南内に本殿と拝殿を設置。本体コンクリート造	20
● 087	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	20
● 088	三輪神社の防空壕跡		松原町原	昭和18年（1943）3月頃、市内空襲。高さ100cm 直径88cm**[5]**	109
● 089	清寿寺の弾薬庫跡	稲沢市	大里	現在部分的に異なる状態であり、全貌がはっきりとは思われる	109
● 090	陸軍清洲飛行場の建造物		清洲駅前	清洲駅前に残存。現在は公の施設として保存。	109
● 091	陸軍清洲飛行場の建造物	清須市	土田	清洲飛行場に関連する倉庫群や格納庫など関連施設があったとされる**[6]**	—
● 092	陸軍清洲飛行場の竹格堡	島本市	小口	竹ノ塚と熱田竹格堡。コンクリート造の建造物。	41, 42
● 093	七宝国民学校の御真影奉安所		七宝町	現在は市立七宝小学校の本造平屋建造物。昭和11年（1936）建造。	110
● 094	清須市の防空壕	清須市	新川町	大曽根、コンクリート造の地下防空壕。	110
● 095	七宝第二小学校の御真影奉安所	愛知郡	安田町	現在は高等学校の本造平屋建造物。昭和11年（1936）建造。	110
● 096	加茂公園		加茂町	現在は公園。	20
● 097	平和公園（株）の護国		加茂町	現在はアパート（株）。本体平屋建の護国があったとされる**[7]**	—
● 098	犬山一国民学校の奉安殿		犬山	現在は市立犬山小学校。	111
● 099	本地小原高射砲陣の弾薬庫		研町緑ヶ丘・南新町	現在の調査。石造建物	110
● 100	陸軍第四師団の高射砲陣地弾薬庫		本地	幅20m 奥行10m は石造の現在コンクリート製建ち部がある基礎が残る。	111
■ 101	愛知航空機（株）第四工場	瀬戸市	本郷	コンクリート造の工場。鉄筋は、コンクリート造柱本構造。	43～46
● 102	近衛文麿の別荘跡地		深川町	昭和17年（1942）頃、現在、高さ115cm 直径79cm	20
● 103	愛知航空機（株）の愛知製工工場		本地	本地工で石本地のアーチ状、建物20 万の防空対策機関本で公開されている**[8]**	111
● 104	東本地区の防空壕		東本地町	幅1m 高さ1.2m 奥行6.7m。はたに1字に東側が2箇所があったとされる**[9]**	—
● 105	新田町の防空壕		新田町	幅6.6m 奥行5.7m 高さ2.0m 奥行7.2 箇所あったとされる**[9]**	—
● 106	植木町の防空壕		植木町	竹ハ東側が2 幅で4 箇所	111
● 107	竹下町の防空壕		竹下町	幅1m 高さ1.5m 奥行10m の東側が2 箇所があったとされる**[9]**	—
● 108	赤色塗の防空壕	日進市	岩崎町	小型の元 防空壕。幅0.8m 奥行1.7m。高さ1.75cm。	111
● 109	岩津第一本町木造地		本町木造地	現在は国有地。岩津第一本町木造地の現在は、土塁が確認されたとされる**[10]**	—
● 110	本町木造の防空壕		本町木造	幅1m 高さ1.3m 奥行6.10m の東側が2 箇所があったとされる**[9]**	—
● 111	日本石油の防空壕	東海市	荒尾	現在は国有地。	47～50
● 112	高射砲陣 - 矢田陣地	東海市	矢田	高射砲第四十七連隊第十砲隊、砲台、兵舎、弾薬庫など	47～50
● 113	矢田石油の防空壕		矢田	現在は国有地。	47～50
● 114	日本石油の防空壕		荒尾	現在は国有地。	47～50
● 115	名古屋陸軍兵器補給廠（川西）の防空壕	知多郡	大府	「名古屋陸軍兵器補給廠（川西）」の「知多郡大府」の防空壕。	51～54
● 116	陸軍第四師団の防空壕		大府	現在は国有地。	51～54
● 117	陸軍第四師団の防空壕		大府	現在は国有地。	51～54
● 118	陸軍第四師団の防空壕		大府	現在は国有地。	51～54
● 119	陸軍第四師団の防空壕		大府	現在は国有地。	51～54
● 120	神明社の地図		大府	現在は国有地。	112
● 121	北海道 記念碑（竹ケ鼻）		竹ケ鼻	西南戦争。北海道戦争の記念碑。記念碑。多度神社から移転	112
● 122	北海道 記念碑（大曽根）		大曽根	現在の大曽根西小学校の敷地内。記念碑。	113
● 123	田辺の防空壕（宝ノ脇）		田辺	コンクリート造のトンネル。内部の幅4.7 m。	113
● 124	田辺の防空壕（高見）		田辺	日進に「田辺二十八年九月」銘の石碑	113
● 125	田辺の防空壕（高見）		田辺	現在「田辺」。防空の防空壕。内部の幅4.7 m。	113
● 126	田辺の防空壕（中田）		田辺	現在の高見2 丁目。	113
● 127	北海道 記念碑（大江）		新舞子	当時の浦町および付近の公園敷地の大江市子浦敷地の北海道など	114
● 128	陸軍第四師団の地下壕の跡の地下壕	東浦町	上地	東海道本線線路西側の高台の地内。現在開発されており、	114
● 129	陸軍第四師団の地下壕		緒川	高射砲第四十七連隊第十七中隊、兵員諸隊7 箇所あったとされる**[2]**	—
● 130	陸軍第四師団の地下壕		緒川	高射砲第四十七連隊第十七中隊第一砲隊7 箇所あったとされる**[2]**	—
● 131	新川の防空壕	阿久比町	板津屋敷	現在、新川の地内の防空壕。	114
● 132	今福の防空壕		今福	コンクリート造の防空壕。	114
● 133	東浦市の防空壕跡地	東浦町	大字緒川	現在の東浦町。	115
● 134	石田の防空壕		石田	昭和20年（1945）3月14日、アメリカ軍による空襲と思	115
● 135	小川の防空壕		小川	現在のコンクリート構造。東側の防空壕。交通壕	115
● 136	逆地の防空壕	半田市	亀崎町	現在にコンクリート造の防空壕。鳥居のような	116
● 137	半田空中戦の犠牲者		亀崎	約2.5m 間口3.3m のコンクリート造本建物があったとされる**[11]**	116
● 138	陸軍飛行場（株）の倉庫跡 - 鶴舞場		中平町	コンクリート造煙突跡。鶴舞場（上石切）跡。鶴舞	116
● 139	陸軍飛行場（株）の電信柱跡		中平町	昭和20年（1945）7月15日、神宮前東2丁目に被弾	23
● 140	陸軍飛行場（株）の弾薬庫		上野町	コンクリート基礎7 基。「陸軍」銘が工場のもの。	—
● 141	亀崎小校の奉安殿		中町	昭和20年（1945）7月24日空襲。日陸軍第四工兵隊の一部が	—
● 142	半田防空監視哨		中村町	「陸軍」の「中部防衛司令部」に配属されたとされる**[12]**	—
● 143	半田市役所の防空壕		中村町	「陸軍」の「中部防衛司令部」に配属されたとされる**[12]**	—
■ 144	武豊港工業地帯の建造	知多郡	下山・川南	大阪陸軍兵器補給廠武豊出張所。特殊庫、弾薬庫、工場が建ったとされる。	—
● 145	野間灯台監視哨	東浦町	野間	現在2 基残存。	116
● 146	河和海軍航空隊基地		河和	十字形のコンクリート製。内部は3 つのかまどの跡	117
● 147	河和海軍航空隊基地		善住寺	現在は、機体整備基礎 門柱、野太神社など	51～54
● 148	知多郡の防空壕跡	南知多町	豊浜	現在は、機体整備基礎 門柱、野太神社など	117
● 149	中之島の電人像		山海土間	名古屋市千種区行方と豊田市の中之島間に残る。	117
● 150	大井陸軍倉庫の地下壕		大井	現在は、機体整備基礎 門柱、野太神社など	117
● 151	片名防空壕地の地下壕		片名	現在は、機体整備基礎 門柱、野太神社など	117
● 152	カノ山の防空壕		大字豊浜の字	現在は、機体整備基礎 門柱、野太神社など	117
● 153	知豊防空監視哨	豊田市	知波町野崎	豊橋城本曲輪に設置。現在のコンクリート構造	117
● 154	知波町の防空壕		大字知波町	現在は市指定文化財。知波町の防空壕。	117
● 155	知波町の防空壕		石野町	現在は市指定文化財。知波町の防空壕。	117
● 156	熱田神宮の被災痕跡		神宮	現在は市指定文化財。知波町の防空壕。	101
● 157	名古屋市役所の防空壕	名古屋市中区	三の丸	現在は市指定文化財。知波町の防空壕。	102
● 158	愛知航空機（株）本社工場の手ぐり（スリット）	名古屋市港区	野跡	本工場周辺コンクリート造壁面。幅1.1m高さ70m 奥行	101
● 159	名古屋市役所の建物		西区	現在は市指定文化財。知波町の防空壕。	102
● 160	名古屋市役所の防空壕		西区	現在は市指定文化財。知波町の防空壕。	102
● 161	山田橋の被災痕跡	名古屋市南区	呼続	明治21年（1888）頃の製橋材。昭和20年（1945）空襲により被災（推定）。	102
● 162	高射砲陣 - 笠寺陣地		高射砲陣地	高射砲陣地。第一、第二、第三、第四、第五の陣地。	102
▲ 163	知多郡の防空壕	名古屋市中川区	中川区宮	面宮神社の西門下に幅2.2 間奥行0.7	102
● 164	名古屋市役所		伝馬通	昭和20年（1945）5月14日空襲。	103
● 165	名古屋市役所		五軒	日陰地区住宅敷。東側の2 重（幅0.7 3m、2.4m）があったとされる**[2]**	—
● 166	陸軍第四師団の防空壕		堀田	堀田地区住宅敷。東側の2 重（幅0.7 3m、2.4m）があったとされる**[2]**	—
● 167	高射砲陣 - 塩釜市陣地		牛尾	高射砲第四十七連隊第十砲隊、兵員諸隊7 箇所あったとされる**[2]**	—
● 168	高射砲陣 - 東海市陣地		荒尾	陸軍高射砲第十七連隊第一砲隊。	102
● 169	高射砲陣 - 知多郡陣地		小鳥	高射砲第十七連隊第一砲隊、コンクリート製の防空壕があったとされる**[2]**	—
● 170	船舶第一師団本部		大井	本部3 棟、石造倉庫7 棟。昭和20年頃に解体。	—
● 171	小田原の防空壕跡地		小田原	本部3 棟、石造倉庫7 棟。	103
● 172	名古屋陸軍兵器補給廠（川西）の防空壕		鳴海町	「名古屋陸軍兵器補給廠（川西）」の「鳴海町」の防空壕。	103
● 173	門下町の防空壕		大高町	現在の門下町。	103
● 174	大高区の防空壕		大高町	大高区内に残された防空壕。	103
● 175	大高区の防空壕		大高町	大高区内に残された防空壕。	103
● 176	八事聖霊の防空壕跡		八事山	八事聖霊の西側の正面の壁。幅2.5m高さ1.8m	104
● 177	陸軍第四師団の地下壕		八事山	軍隊関係者等関係者の遺骨収容の際に発見された。	104
● 178	相生山緑地の弾薬庫		相生山	緑地内に7 11 箇所	33～36
● 179	名古屋市立第一高等女学校	名古屋市	八事	現在の地下鉄「八事」駅の西側。	104
● 180	陸軍第四師団	名古屋市	八事	現在の地下鉄「八事」駅の西側。	104
● 181	日本ラジオ（株）前田野工場	前田野	前田野	戦時に軍需品製造（500）。空襲時のみ対象となったとされる**[3]**	—
● 182	一宮重工業（株）	高蔵寺	高蔵寺	一宮重工業（株）名古屋発動機製作所の調査対象。	105
● 183	日本ラジオ（株）の防空壕	庄内	庄内	現在の地下鉄「庄内通」駅の西側。	105
● 184	名古屋陸軍病院の建物		庄内	現在の地下鉄「庄内通」駅の西側。	105
● 185	海軍軍学校の奉安殿	川島町	東野町東野	高さ241cm 幅271cm の木造建物。現在学園内で、倉庫として使用**[4]**	22
● 186	小牧山の防空壕	小牧市	小牧	防空壕は小牧山の南側に2 箇所、3カ所設けられた。	105
● 187	小牧山南麓の空襲跡		堀口町	小牧市小牧駅近くを眺望したもの。大正11年（1922）1月31日建立	105
● 188	日本ハモニカ株式会社第五事業所		小牧	現小牧市役所の北西。コンクリート造平屋建建物と工場跡。	105
● 189	豊川海大研修所		小牧	昭和14年（1939）7月に小牧山東側山に土建工。後西林寺に移設	105
● 190	「日の丸山」「月の丸」「星の丸」		犬山市	陸軍特別工兵連隊による「日の丸」「月の丸」「星の丸」。戦後も空襲による	106
● 191	名古屋陸軍航空機製作所		下末野川原・山田郡内	現在国道1 号線沿いに残存。	106
● 192	名古屋陸軍航空機製作所	春日井市	白山	現在の春日井市白山町の山間部の建設跡。	106
● 193	小山神社の橋梁		玉野町・西山町	名古屋陸軍航空機製作所（名古屋陸軍航空機製作所）の軍用道路の一部。	37～40
● 194	名古屋陸軍兵器工場跡		鷹来町	現在地方の鷹来小学校の敷地。	107
● 195	陸軍第四師団の防空壕		大泉寺町山田	名古屋陸軍兵器工場。敷地内。	107
● 196	陸軍第四師団の防空壕		大泉寺町山田	本部4 棟。	107
● 197	陸軍小牧飛行場の格納庫		田県	コンクリート造、半地下式。幅20m 奥行25m 高さ2.10m。現在第	107
● 198	陸軍大曽根分隊の地下壕跡		鳥取町	「陸軍」旧名古屋師団 4 連、現ヤマザキ商パン北	107
● 199	陸軍第四師団兵器所	上下町	上下町	RC 造平屋。2 棟。鉄道用。空中支撃用の小銃眼。	108
● 200	陸軍小牧飛行場の格納庫	上条町	上条町	本部2棟及び倉庫4 棟。昭和13年（1938）春現在庫内に残	108
● 201	豊田防空監視哨		鴨江町	現在地方の鷹来小学校の敷地内。	108
● 202	名古屋陸軍病院の建物		庄内	本部4 棟及び倉庫。鉄筋造。通風口が設置の弾丸庫。	108
● 203	犬山第一小学校の御真影奉安所		二曲	現在は市立犬山小学校。	108
● 204	犬山市役所		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	109
● 205	三輪神社の防空壕跡		松原町原	昭和18年（1943）3月頃、市内空襲。高さ100cm 直径88cm**[5]**	109
● 206	清寿寺の弾薬庫跡	稲沢市	大里	現在部分的に異なる状態であり、全貌がはっきりとは思われる	109
● 207	陸軍清洲飛行場の建造物		清洲駅前	清洲駅前に残存。現在は公の施設として保存。	109
● 208	陸軍清洲飛行場の建造物	清須市	土田	清洲飛行場に関連する倉庫群や格納庫など関連施設があったとされる**[6]**	—
● 209	陸軍清洲飛行場の竹格堡	島本市	小口	竹ノ塚と熱田竹格堡。コンクリート造の建造物。	41, 42
● 210	七宝国民学校の御真影奉安所		七宝町	現在は市立七宝小学校の本造平屋建造物。昭和11年（1936）建造。	110
● 211	清須市の防空壕	清須市	新川町	大曽根、コンクリート造の地下防空壕。	110
● 212	七宝第一国民学校の御真影奉安所		安田町	現在は高等学校の本造平屋建造物。昭和11年（1936）建造。	110
● 213	七宝第一国民学校の御真影奉安所	愛知郡	七宝町	現在は市立七宝小学校の本造平屋建造物。昭和11年（1936）建造。	110
● 214	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 215	犬山第一小学校の御真影奉安殿		二曲	一体神社南内に本殿と拝殿を設置。本体コンクリート造	111
● 216	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 217	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 218	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 219	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 220	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 221	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 222	犬山市役所の防空壕		犬山	犬山市役所内に大小数箇所。大規模防空壕。敵機襲来時に使用された。	111
● 223	鷹来小学校の防空壕跡	西尾市	吉田町白新町	コンクリート製高さ1.95cm 直径84cm。西尾市教育委員会	131
● 224	海軍第八空廠小倉工場		吉田町白新町	海軍第八空廠小倉工場。敷地内。個人の調査でも発見したもの	131
● 225	市民新聞の弾丸庫		横須賀	名古屋陸軍造兵廠第六（陸軍）旧名古屋師団	131
● 226	市民新聞の弾丸庫	幸田町	須賀	防空壕は西方と東方に2カ所ずつ。	131
● 227	大日本百貨（株）の被害碑		菱池	現UBC会社（株）の建物に被害碑があったとされる**[13]**	—
● 228	大日本百貨（株）の被害碑		菱池	現UBC会社（株）の建物に被害碑があったとされる**[13]**	—
● 229	熱田の防空壕		大字熱田方区	山間部に防空壕が残る。鉄筋造の入口が残っており、内部は崩れている。	—
● 230	熱田の防空壕		大字熱田方区	山間部に残る。防空壕が残る。鉄筋造の入口が残っており、内部は崩れている。	—
● 231	熱田の防空壕		大字熱田方区	山間部に残る。防空壕が残る。鉄筋造の入口が残っており、内部は崩れている。	—
● 232	陸軍第四師団の防空壕		大字熱田方区	山間部に残る。防空壕が残る。鉄筋造の入口が残っており、内部は崩れている。	—
● 233	日安地区の防空壕	東栄町	日安地区	日安地区の中央に位置する。1945年（昭和20年）頃に建設。	132
● 234	本郷防空監視哨		本郷字西山	山間に一辺4.1m の鉄筋のコンクリート製建物があったとされる**[14]**	132
● 235	海軍兵学校の奉安殿	新城市	作手	現在は市立作手小学校。	132
● 236	海軍兵学校の奉安殿跡		海軍学校工廠	昭和15年（1940）建立。御真影、勅語等収納は奉安殿に収納された。	132
● 237	海軍兵学校の奉安殿		作家町中学校	作家町中学校の敷地内に残存している。	132
● 238	鳳来山東照宮の三代目木		門谷字鳳来寺	社殿、拝殿、太平洋戦争の日程表が記された紙が三代目木の中に入れられていた。	132
● 239	門谷字鳳来寺の奉安殿		門